



探究ニュース Access No. 29

発行日 令和5年6月22日

目次

- I 48期 A 探究 本格始動
- II 47期 C 探究 本ゼミスタート
- III イベント・講演会に参加しませんか？

I 48期 A 探究 本格始動

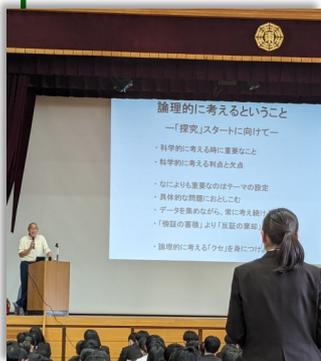
先月1日、大阪大学医学部名誉教授 仲野徹先生をお迎えし、「論理的に考えるということ 『探究』スタートに向けて」と題して講演をしていただきました。探究を行うに際して大事なことや活動に向けたアドバイスが沢山詰まったお話に、講演後も積極的に質問が飛び交う充実した時間になりました。



・ひとつひとつのデータや結果を定量的に見ながら、プランを着実に実行していくという、細大問わず成果を積み重ねていくその丁寧なプロセスが、この活動において重要なのだと学ぶことができました。また、考えていると時機を逃し、行動するだけでも先が詰まるから、夢を持って、強い意思を持って物事を決めることが大切だという内容に感銘を受けました。

・探究学習を進めるにあたり、大切なことを多く知ることができた。正確なデータを用いて、できるだけ定量的に考えてまとめることは、誤解を最小限にすることに繋がる。また、健全な好奇心をもって、他人と違う角度で考えることで、より濃い内容に仕上げることが出来る。そして、自分と同じ分野に興味がある人たちと話し合い、様々な意見を受け入れていくことは、自分の頭の中を整理することに繋がる。今回、講演を聞いて、探究についての疑問が晴れた。講演中に沢山書いたメモをもとに、これからの探究活動に励んでいこうと思う。

・正確なデータに基づいて、定量的に考える。健全な好奇心を持って疑い、他人と違う考え方をしてみる。大きなものでも、要素にわけて出来るだけ単純に考える。思い通りにいかなくても素直に受け止め、合理的に考える。間違いのないように、慎重かつ大胆に考える。同じ興味を持つ人と話し合うことで、自分の頭の中を整理する。これらが大切なことだと学んだ。また、テーマを設定して一つ決めたらとことんやり通してみる。そして、論理的に考えるクセをつけることが大事だと気がついた。



Voice

1年生前半のA探究では、自分の興味関心に基づいて、個人探究を行います。4月のオリエンテーションで考えた「自分が夢中になること・なったこと」を基に、再度概念マップを作成し、改めて自己分析

を行って、学問分野との関連を意識しながらそれぞれの研究テーマを決定。その後文献調査を行い、現在は、プロットシートの作成を経て、研究の実実施計画を立てているところです。

仲野先生も「問いを考えることが一番難しい。良い問いが立ったら研究の半分は終わったようなもの。」と仰っていただけにリサーチクエスションの設定に悩んでいる人も多いようですが、A探究の大きな目標は、一度探究のプロセスを体験して、後半のB探究や次年度のC探究に生かせるようにすることです。まずは自分が関心を持ったテーマとそこから設定したリサーチクエスションに基づいて、悩みつつも面白がりながら探究していきましょう。

プロットシート(1年)

探究テーマ・リサーチクエスション・研究方法・仮説を1枚にまとめたもの

①興味・関心・概念マップ

自分の興味・関心はどこにあるのか
発想を広げていきます

③テーマ

①②を基に、自分が探究する大きな
テーマを決めます

⑤RQ(リサーチクエスション)

調べたことを基にテーマを絞り込み、
実際に探究する問いに落とし込みます

②自己分析

概念マップから自己分析を行い、
学問分野と結びつけます

④テーマについて調べたこと

③のテーマについて文献にあたり、
わかったことをまとめます

⑥仮説

RQに対する仮説を根拠とともに考
えます

このシートを見せながら、「自分はどのような考えから、テーマ、RQ、仮説を考えていったのか」をお互いに説明し合い、もらったアドバイスや発表を通して気づいたことを赤で書き込みながら、RQや仮説がより適切なものになるよう練り上げていきます。

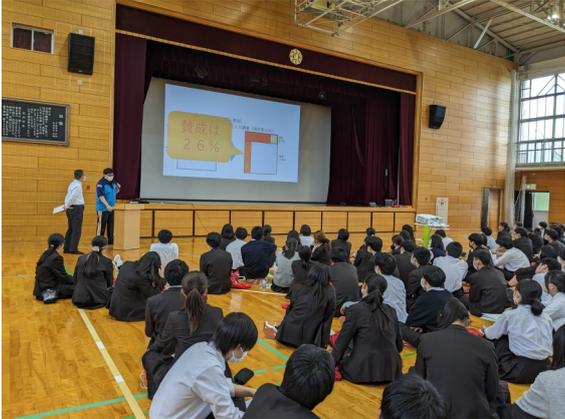
II 47期 C探究 本ゼミスタート

2年生C探究では、ゼミでの活動を中心として探究を行います。ゼミとはゼミナールの略称で、研究環境のことを指します。最終的にはそれぞれが個人研究の成果を論文の形にまとめ、成果発表会で発表を行います。そこに至るまでの過程で、大学のゼミと同じように、研究テーマの近い生徒同士でのゼミ活動を通じて、共通のテーマについて知識を深めたり、お互いの研究状況を報告してアドバイスをし合ったりしながらより探究活動を深めて行きます。

もちろんゼミごとに担当の教員はいますが、八王子東のゼミの大きな特色は、生徒が自分たちで学ぶ内容を考え、計画を作って活動を進めていく点です。現在、5月の仮ゼミ活動を経て自分の所属ゼミを見極め、いよいよ本ゼミでの活動が始まったところです。各ゼミのゼミ長を中心に、ゼミの仲間と協力し切磋琢磨し合いながら、より充実した探究活動を行ってくださることを期待しています。

C探究 活動の様子

2年生では、様々な活動をしながらか自分の本ゼミを決定していきます。その様子をご紹介します。



データサイエンス講座

今後の研究に向けて、データの適切な取り扱い方について学びました。



仮ゼミ活動

本ゼミ決定に向けて、まずは仮ゼミで活動します。2年生では、更に進化したプロットシートを作成し、自分の興味関心を探っていきます。いくつかの仮ゼミの体験を通して、いよいよ本ゼミの決定です。



進路・探究・科目選択 探究のフロンティア

教育実習生による自身の研究紹介、卒業生による大学の研究分野講演、進路ガイダンスなどを通して、自分の研究分野を見極めていきます。



本ゼミスタート！

今後は、自然科学、医療、芸術、文化、教育、哲学、社会学、心理など、18のゼミに分かれ、ゼミ長を中心に探究活動を進めていきます。



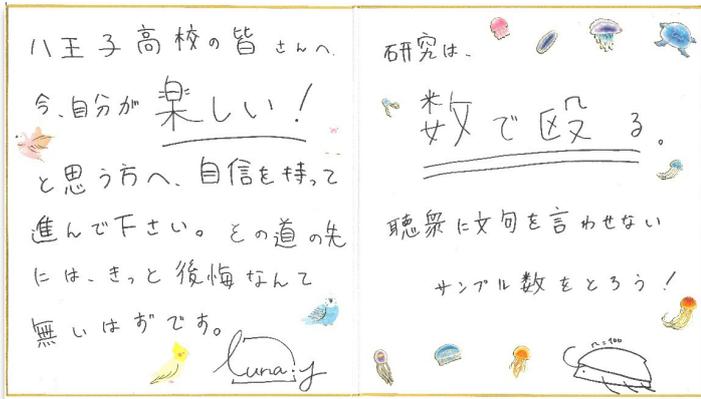
ゼミ長会議

ゼミ長が一挙に集結するゼミ長会議。定期的集まって、情報交換をしたり進め方を相談したりするほか、発表会に向けた実行委員として、ゼミ活動を牽引していきます。

本気でやるから面白い！

Ⅲ イベント・講演会に参加しませんか？

八王子東高校では、外部団体のイベントや外部講師の先生による講演会を、頻繁にお知らせ・企画しています。こうしたイベントや講演会には、視野を広げ、様々な角度から物事を考えるためのヒントとなる事柄がたくさん詰まっています。ぜひ積極的に参加してみましょう。



5月13日 山守瑠奈先生 講演「海の生物の多様性と共生系」
八東生にメッセージをいただきました！



6月2日 藤原辰史先生(京大) 講演
「食べるとはどういうことか
世界の見方が変わる3つの質問」
オンラインで講演していただきました



6月17日 初夏のガサガサ(校内イベント)
浅川用水路で調査を行いました



高倉小学校 放課後子ども教室ボランティア
小学生と遊んだり勉強を見てあげたりします



Coming soon!

葉の「しおれ」を防ぐ ~植物の作る分子のはたらきを解き明かし、応用する~

植物の気孔開口を抑制する天然化合物を発見。その正体はなんとワサビなどの辛味成分！天然由来の安全性を担保した鮮度保持剤などの開発につながると期待しています。セミナーでは、50倍以上活性を向上させたスーパー-ITCについてもお話します。

2023年6月23日(金) 4時-5時半
@生物室(オンライン開催) 申込: Forms 6/19まで



講師 相原 悠介
(名古屋大学 特任講師)

理数研究校2023年度 第4回企画行事
東海国立大学機構 名古屋大学 IT&M

備考 (1) 探究や進路についても聞いてみよう
(2) 「スーパー-ITC」の情報⇒QRコード



まだ間に合います！
興味がある人は大至急、生物の森下先生まで申し出て下さい。

今後もHSCや職員室前の掲示板を通じてお知らせしていきます！